

〔卒業後の状況調査〕

1 中学校卒業生

- (1) 平成23年3月の中学校卒業生数は53,963人（男子 27,467人、女子 26,496人）で、前年より2,067人（3.7%）減少している。
- ①「高等学校等進学者」は52,959人（男子 26,870人、女子 26,089人）で、前年より1,929人（3.5%）減少している。
 - ②「専修学校（高等課程）進学者」は142人（男子 78人、女子 64人）で、前年より14人（10.9%）増加している。
 - ③「専修学校（一般課程）進学者」は92人（男子 54人、女子 38人）となっている。
 - ④「公共職業能力開発施設等入学者」は29人（男子 26人、女子 3人）となっている。
 - ⑤「就職者（進学者は含まない）」は158人（男子 129人、女子 29人）で、前年より44人（21.8%）減少している。
 - ⑥「左記以外の者」及び「死亡・不詳の者」は583人（男子 310人、女子 273人）で、前年より97人（14.3%）減少している。

図9 中学校卒業生数及び進学率の推移

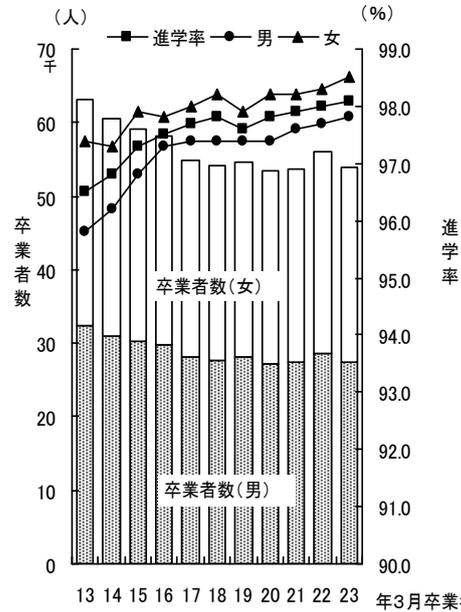


表10 中学校の進路別卒業生数

区分	卒業生数	高等学校等進学者		専修学校(高等課程)進学者	専修学校(一般課程)等入学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者	左記以外の者	死亡・不詳の者	ABC等のうち就職している者(再掲)	高等学校等進学者のうち		就職率
		A	うち通信制課程を除く								進学率(%)	通信制課程を除く	
平成13年	63,198	61,017	60,635	335	172	118	531	1,017	8	44	96.5	95.9	0.9
14年	60,647	58,681	58,345	303	179	119	475	888	2	15	96.8	96.2	0.8
15年	59,176	57,599	57,302	176	124	103	364	806	4	30	97.3	96.8	0.7
16年	58,215	56,776	56,401	149	89	62	361	777	1	14	97.5	96.9	0.6
17年	54,863	53,604	53,235	108	80	48	319	698	6	21	97.7	97.0	0.6
18年	54,053	52,838	52,485	91	74	50	328	669	3	17	97.8	97.1	0.6
19年	54,625	53,337	52,944	118	73	48	324	720	5	18	97.6	96.9	0.6
20年	53,415	52,225	51,749	90	74	37	332	652	5	10	97.8	96.9	0.6
21年	53,584	52,439	51,844	118	80	30	210	703	4	4	97.9	96.8	0.4
22年	56,030	54,888	54,185	128	91	41	202	671	9	15	98.0	96.7	0.4
23年	53,963	52,959	52,354	142	92	29	158	581	2	8	98.1	97.0	0.3

- (2) 高等学校等進学者のうち、高等学校の通信制課程（本科）へ進学した者を除いた進学者数は52,354人で前年より1,831人減少し、男子は26,620人で前年より1,041人減少し、女子は25,734人で前年より790人減少している。

高等学校等進学率（全卒業生数のうち高等学校等進学者の占める割合）は98.1%となっている。このうち高等学校の通信制課程（本科）へ進学した者を除いた進学率は97.0%で、前年より0.3ポイント上昇している。男子は96.9%で前年より0.4ポイント上昇しており、女子は97.1%で前年より0.2ポイント上昇している。

男女別の進学率は、昭和42年以降女子の進学率が男子のそれを上回っている。

- (3) 就職者総数（「就職者」に「高等学校等進学者」・「専修学校（高等課程）進学者」・「専修学校（一般課程）等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者を加えた全就職者数）は166人（男子 137人，女子 29人）で，前年より51人減少している。
- ①就職率（全卒業者のうち就職者総数の占める比率）は0.3%で，前年より0.1ポイント低下している。
- ②就職者総数を産業部門別にみると，最も多いのが第2次産業の79人（就職者総数の47.6%）で，次いで第3次産業の73人（同44.0%）となっている。
- ③就職者総数のうち県外（出身中学校が所在する県以外の県）へ就職した者は25人で，就職者総数の15.1%であり，前年より1.7ポイント上昇している。

2 高等学校（全日課程・定時課程）卒業生

- (1) 平成23年3月の高等学校卒業生は45,990人（男子23,305人，女子22,685人）で，前年より589人（1.3%）減少している。卒業生の進路別内訳は，「大学進学者」25,200人，「専修学校（専門課程）進学者」7,703人，「専修学校（一般課程）進学者」4,019人，「公共職業能力開発施設等入学者」136人，「就職者」5,285人，「一時的な仕事に就いた者」1,065人，「左記以外の者」及び「死亡・不詳の者」2,582人となっている。
- (2) 大学等進学者数は25,200人で，うち男子は12,675人，女子12,525人で，前年よりも510人（2.0%）減少している。
- 進学率（全卒業者数のうち大学等進学者の占める比率）は54.8%で，うち男子は54.4%，女子は55.2%となっている。
- このうち，大学・短期大学の通信教育部に進学した者を除いた進学率は54.7%で，前年より0.4ポイント低下している。
- 男女別の進学率は，平成18年以降男子の進学率が女子のそれを上回っていたが，23年では女子の進学率が男子のそれを上回っている。

図10 高等学校卒業生数，進学率及び就職率の推移

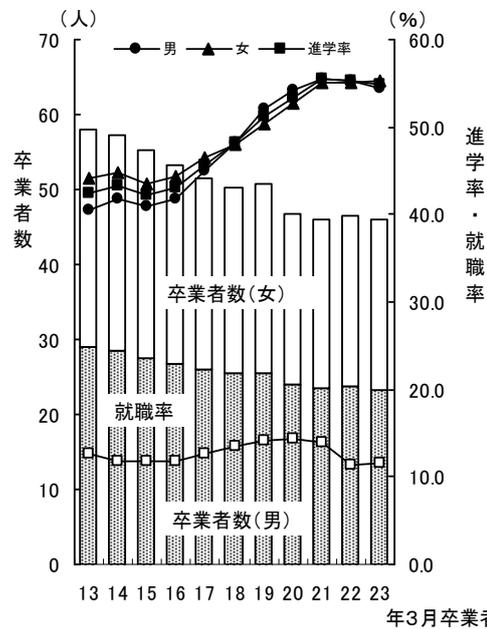


表11 高等学校の進路別卒業生数

区分	卒業生数	大学等進学者		専修学校(専門課程)進学者 B	専修学校(一般課程)等入学者 C	公共職業能力開発施設等入学者 D	就職者	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者	ABCDのうち就職している者(再掲)	大学等進学率(%)	就職率(%)	
		うち通信教育部を除く A	うち通信教育部を除く										通信教育部を除く	就職率
平成 13年	58,013	24,575	24,550	11,297	7,610	217	7,251	...	6,770	293	56	42.4	42.3	12.6
14年	57,134	24,738	24,722	11,140	7,437	199	6,668	...	6,947	5	56	43.3	43.3	11.8
15年	55,225	23,354	23,311	11,087	7,586	242	6,420	...	6,536	-	58	42.3	42.2	11.7
16年	53,304	22,950	22,919	11,040	7,183	148	6,213	2,083	3,686	1	32	43.1	43.0	11.7
17年	51,418	23,480	23,448	10,451	5,995	169	6,522	1,735	3,056	10	23	45.7	45.6	12.7
18年	50,280	24,213	24,186	10,065	4,902	178	6,822	1,498	2,600	2	14	48.2	48.1	13.6
19年	49,561	25,386	25,362	9,028	4,418	175	6,996	1,112	2,445	1	11	51.2	51.2	14.1
20年	46,364	24,721	24,700	7,593	4,128	126	6,660	933	2,201	2	10	53.3	53.3	14.4
21年	45,982	25,453	25,426	6,917	3,980	116	6,404	1,056	2,056	-	19	55.4	55.3	14.0
22年	46,579	25,710	25,686	7,748	4,070	120	5,271	1,266	2,389	5	12	55.2	55.1	11.3
23年	45,990	25,200	25,178	7,703	4,019	136	5,285	1,065	2,575	7	11	54.8	54.7	11.5

- (3) 専修学校（専門課程）進学者は7,703人（男子3,011人，女子4,692人）で，進学率は16.7%となり前年より0.1ポイント上昇している。
- (4) 就職者総数（「就職者」に「大学等進学者」・「専修学校（専門課程）進学者」・「専修学校（一般課程）等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者を加えた全就職者数）は5,296人で，前年より13人（0.2%）増加している。
- ① 就職率は11.5%で，前年より0.2ポイント上昇している。
- ② 就職者総数を産業別にみると，製造業が1,544人（就職者総数の29.2%）で最も多く，次いで卸売・小売業570人（同10.8%），医療・福祉業が536人（同10.1%）等となっている。
男女別にみると，男子は，製造業が1,231人（男子就職者総数の39.9%）が最も多く，女子では，医療・福祉が446人（女子就職者数の20.2%）と最も多くなっている。
- ③ 就職者総数を職業別にみると，生産工程従事者が1,677人（就職者総数の31.7%）と最も多く，次いでサービス職業従事者1,068人（同20.2%）等となっている。
男女別にみると，男子は，生産工程従事者が1,410人（男子就職者総数の45.7%）
女子では，サービス職業従事者が770人（女子就職者数の34.8%）と最も多くなっている。
- ④ 就職者総数のうち，県外（出身高等学校が所在する県以外の県）へ就職した者は，959人（前年1,021人）で就職者総数の18.1%であり，前年より1.2ポイント低下している。

図11 高等学校卒業者の男女別にみた主な産業別就職者数の比率

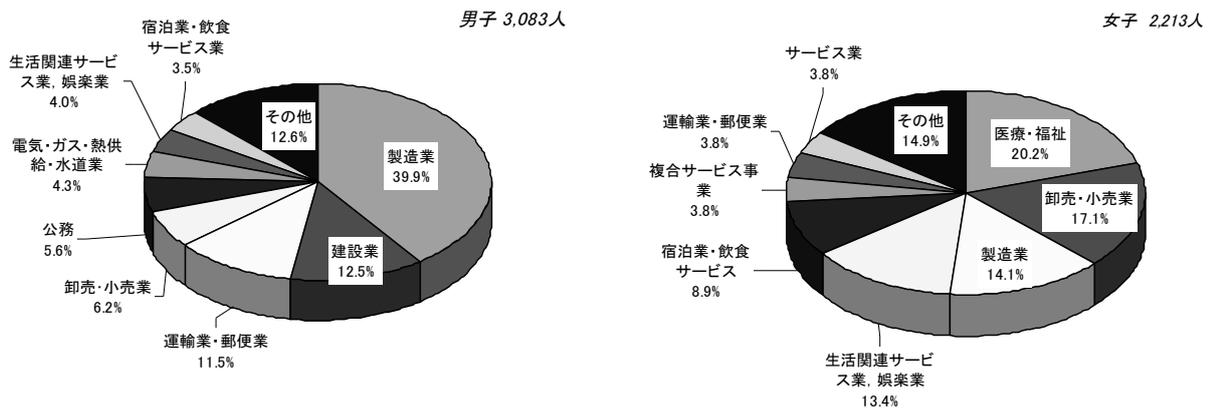
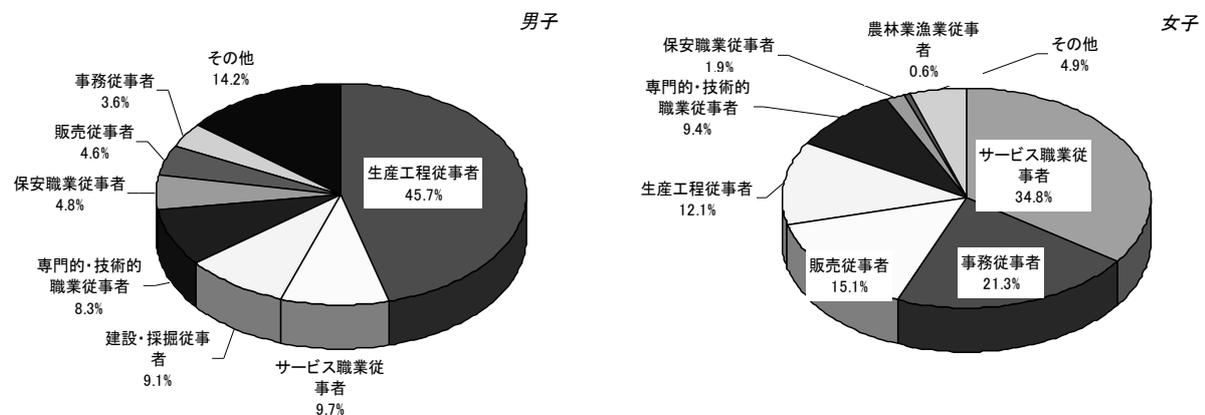


図12 高等学校卒業者の男女別にみた主な職業別就職者数の比率



3 高等学校（通信制課程）卒業生

平成22年度間の高等学校（通信制課程）の卒業生数は1,488人（男子745人，女子743人）で前年度間より14人減少している。

卒業生の進路別内訳は，「大学等進学者」260人（卒業生に占める比率17.5%），「専修学校（専門課程）進学者」332人（同22.3%），「専修学校（一般課程）等入学者」54人（同3.6%），「公共職業能力開発施設等入学者」5人（同0.3%），「就職者」204人（同13.7%），「左記以外の者及び不詳の者」633人（同42.5%）となっている。

4 特別支援学校（中学部・高等部）の卒業生

(1) 平成23年3月の各中学部の卒業生は417人で，前年に比べ28人増加している。

卒業生のうち高等学校等進学者は，415人（卒業生に占める比率99.5%）で，うち410人は各学校の高等部に進学している。

(2) 平成23年3月の各高等部の卒業生は793人で，昨年より105人増加している。

①卒業生のうち大学等進学者数は，36人（卒業生に占める比率4.5%）となっている。

②卒業生のうち就職者数は，217人（卒業生に占める比率27.4%）となっている。

〔不就学学齡児童生徒調査〕

- 1 **就学免除者**
就学免除者数は学齡児童（6歳～11歳）3人、学齡生徒（12歳～14歳）6人となっている。
- 2 **就学猶予者**
就学猶予者は学齡児童10人、学齡生徒6人となっている。
- 3 **1年以上居住不明者**
1年以上居住不明者は学齡児童61人、学齡生徒35人となっている。
- 4 **学齡児童生徒死亡者**
平成22年度間に死亡した学齡児童は5人、学齡生徒は4人となっている。

〔学校施設調査〕

- 1 **学校土地面積**
私立学校の土地面積は5,628,136㎡（設置者所有 4,899,656㎡，借用 728,480㎡）であった。
公立の専修学校の土地面積は82,372㎡（設置者所有 81,906㎡，借用 466㎡）であった。
- 2 **学校建物面積**
私立学校の建物面積は1,896,893㎡（設置者所有 1,879,529㎡，借用 17,364㎡）であった。
公立の専修学校の建物面積は33,984㎡（設置者所有 33,984㎡，借用 0㎡）であった。

注) 調査対象は私立の各学校（幼稚園，中学校，高等学校，中等教育学校，専修学校，各種学校）及び公立の専修学校